

高麗小 加藤 達也

ぼくは、今回の交流事業に参加して、かん国人がうちにとまって、言葉はつうじなかつたけどかんじょうとか表情などでだいたい言葉はわかりました。試合をやってみて、やっぱりかんこくは個人ぎや、テクニクがすごいと思いました。かんこくの子たちは毎日練習を1〜2時間やっているとっていました。練習の量がぜんぜんちがうから負けたのかなと思いました。試合はまけてしまったけどいい試合ができたと思いました。この交流事業に参加して本当によかったと思いました。

「日韓戦をおえて」

高麗小 川口 徹治

まずびっくりしたのは、家に着いたら、夜遅いのに、ユニホームに着がえて練習をしたと言って、練習をしたことです。

中の田公園で車のヘッドライトをつけ、韓国の選手2人とぼくと、鈴木君と4人で練習を一時間位したことです。

韓国戦当日、その日は、朝、高麗神社と聖天院を周ってお昼はサイボクハムのサイボクレストランで食事をしました。ここの肉はやっぱりおいしかったです。食事が終わると、総合公園で試合です。開会式のときは、すぐきんちようしていました。でも、ふえが鳴ってからはそんなにきんちようしなくなりました。前半5分〜十分の間、コーナーからのヘディングで決められてしまいました。あと番と番の二人のせめがすぐきれいでした。

試合は負けてしまいました。でも、すごくいい試合ができたのでよかったと思います。

「韓国人がきて。」

高麗小六年 池田 結輝

韓国でも「クレヨンしんちゃん」がはやってると知ってびっくりしました。コンビニでチョコビをたくさん買ってよるこんでいる子がいました。

みんなアパートに住んでいるようで、日本の家の庭を珍しがって、夜庭に出てサッカーをしました。

夜ねる前にまくら投げをしました「やめて」と言っても通じないので、ゆかいにやっていました。

市内かんこうの時、韓国の子がおみくじを引きました。日本語が読めないの「なんてかいてあるの」ときかれ、本当は凶だったけど「OK」と言ったらよるこんでいました。

烏山市と交流をして

高麗川小 石川 嵐麻

烏山市と交流してみても心に残ったことが2つあります。一つは、烏山市の子供たちと仲良くなれたことです。特に高マ川に泊まった3人とは、とても仲良くなれました。泊まった時は、みんなで、プロレスをやったりして遊びました。一生に一回のとても、充実した時間になりました。二つ目は、烏山市の子供たちと試合をやったことです。試合の結果は残念な結果になってしまったけど試合としては、いいゲームになったんじゃないかなと思います。

烏山市の子供たちはとてもサッカーが、じょうずでした。今度試合をやる時は、ワールドカップの時に会ってやれたらなど、思っています。この経験は、一生わすれない思い出になると思います。

感想

高麗川小 菱川 礼真

ぼくは、韓国語教室が始まって、最初はぜんぜんわからなかったけど、だんだんやっていくうちにおぼえてきて、韓国の人が出て、韓国語が話せたので少しは、はなせてよかったです。試合は、二試合目の後半で、でて左サイドをやったけど、韓国の人があつて、パスやドリブルであまりぬけなかったし、パスもあまり通らなかつたので残念でした。でも、何回かチャンスがあつたりして、いいパスがきたり、少しいいパスがでたりしてよかったです。試合や、交流事業に参加できて本当によかつたと思いました。

交流事業の感想

高麗川小 岡野 純樹

ぼくは、このスポーツ交流事業で、とてもいい思い出ができました。

歓迎会で会った時は、まだ少しはずかしくて、何もしゃべれませんでした。でも、だんだん慣れてきて、家に帰ってからは、とても楽しく遊びました。お風呂に入ったり、ふとんで遊んだり、言葉はあまりわからないけど、それは、とても楽しかったです。

二日目の、親善試合では、後半の二〇分間だけ出場しました。もっとやれたかなと、少しくやしいけど、烏山市の子と、楽しくサッカーができたのでよかったです。それに、ぼくの家にとまつた3人が、得点を入れました。なので、ぼくも3人にまけないように、がんばろうと思いました。

ぼくは、この交流事業で、烏山市の子と、とても仲よくなれました。このような体験ができて、とてもよかつたです。これから、サッカーを続けてがんばっていき、また、いつかみんなに会えたらいいなと思います。

高麗川小 築茂 圭吾

ぼくは、かんこくとの交流で一番心に残っているのは、友だちになれたことです。いろいろな人としやべったり、言葉が通じなくてもかんこくの子は分かってくれました。特に最後の日の夜、みんなでテレビゲームや歌を歌ったりしたことが楽しかったです。最初の日のかんげい夕食会ではあまり話せませんでした。

かんこくとの試合ではかんこくの子はとても強いと思いました。ぼくもゴールキーパをやっていて、前半だけで3点も入れられてしまいました。だけど交流試合が終わった後はかんこくの子に「ナイスキーパー」と言われたことがとてもうれしかったです。

かんこくの交流はめったにないことなのできちょうな経験になったと思います。かんこくの子どもたちには、ぼくたちのことを一生忘れないでほしいと思います。

スポーツ交流事業に参加して

高萩小 小峰 直将

結団式で大沢市長に「ミニオシムジャパン」と言われて、一生けん命がんばろうと思いました。韓国の小学生と、どうやって友達になるうか不安だったけど、すぐに仲良くなる事が出来ました。おたがいの言葉が、あまり分からなくても、手ぶりや英語で相手に伝える事が出来たし、通じた時はとてもうれしかったです。いっしょにいて、韓国の子は、とても積極的だと思いました。ぼく達の名前を早く覚えて、あく手をして来たり、何んでも興味を持って質問して来ました。ぼくが、何か手伝ってあげると、少しの事でも、ていねいにおじぎをしてくれて、礼ぎ正しいなあと感じました。夜、花火をして、楽しくてみんなでたくさん笑いました。サッカーの試合は、負けてしまっただけで、韓国がとても好きになりました。大人になったら、韓国の烏山市に行ってみたいです。

交流を終えて

高萩小 岡野 潤

十一月四日(土)、高麗川カントリーで、韓国の選手と日高選抜が、始めて合いました。

最初は、韓国の子達としやべらなかつたけど、だんだんと話せるようになりました。心配していた言葉は、うまく話せなくても、韓国の子達と仲良くなれてよかったです。

ホームステイの天ヶ瀬君家に、皆で泊まりに行き、韓国の子達とゲームをしたりして楽しかったです。

交流試合は、たくさんの人達が来ていて、少し緊張しました。2試合とも負けたのは、残念でした。

韓国との交流を通して、こんな機会に触れ合えて、選抜にえらばれて、本当に良かったです。いい思い出になりました。

交流会をおえて

高萩小 根津 樹希也

十一月4・5日の2日間、韓国との交流会がありました。高萩にホームステイしたのは、シワンさんとソンヒョンくんでした。言葉がうまく通じなかつたのでジェスチャーや英語などを使い会話をしました。

試合は、前半は1点入れられ後半は0点で、1対0で負けました。二試合は4対1で負けて、2連敗でした。

よろこんでいたことは、チョコビを買ったときでした。思い出にのこる2日間でした。カムサハムニダ。

「交流会を終えて」

高萩小 天ヶ瀬 祐希

ぼくは、交流会を終えて楽しかった事がたくさんありました。でも韓国の子が来る前は、「本当にうまくいくのかなあ〜」など思いました。でも韓国の子が来て食事をする前に、コップにジュースをついでくれました。食事が始まると、意外と、話しができるし、楽しい事もありました。ぼくの家にもホームステイした子は、ペ・ソンヒョンちゃんと、キム・シワンくんです。二人ともサッカーがうまくて、すごいと思いました。一番楽しかった事は、2日目の夜にやった花火です。ほかに、スパーに行った時に、チョコビというおかしを見つけたとき二人ともはしゃいでいたことです。印象に残った事は、二人ともクレヨンしんちゃんのファンだったことです。あと、シワンくんが、牛乳をのんだ事です。そのほかには、韓国の歯みがき粉があまかったことです。二日目の夜にやった歓迎会では、ビンゴゲームをした時に、番号がなかなかでないで4リーチになり、ビンゴになったとき、景品を4つもらった事もおもしろかったです。二人が帰る日ぼくは、「もうおわかれか」と思いました。でも2日間楽しい思い出がで

て、良かったです。韓国の子が帰ったあと、ぼくは、少しさびしい気持ちになりました。けどこの事は、忘れないで次のけいけんにいかそうと、思いました。今回の交流会にでて、本当に良かったなど、思いました。また、今回のような、企画があつたら、でたいです。

選抜選手に選ばれて

高根小 小島 奨平

ぼくは、選抜に選ばれてわすれることのない思い出をつくりました。高麗川カントリーでの夕食会では、初めは言葉が通じなかったが、名前をおぼえてもらってからは、普通にはなせるようになりました。ホームステイでは、おかしやサイフなどいろいろなお土産をもらいました。コミュニケーションもたくさんとれました。

試合では、いままで練習してきた成果をじゆうぶんに発揮しました。だけど韓国チームの方は、声もよくでていたしパスパスがいつぱいでていました。そしてあつと言つまに最後の夜がきてしまいました。

みんなは、すごく盛り上がりました。正直ぼくは、まだいてほしかったです。そして、お別れの朝みんなは、「奨平」とみんなからよばれ、あつくあくしゅをしました。小学校最後の思い出になってよかったです。

烏山市との交流

高根小 新井 聖人

小島君の家に烏山市の選手が泊まるから、僕も小島君の家に泊まりに行きました。烏山市の選手とは言葉は通じなくてもすごく楽しくあそびました。夜には一緒にゲームをしてお風呂に入りました。烏山市の選手とすごした二日間はとても楽しかったです。

韓国、烏山市との交流の感想

高根小 内田 唯

最初は、なかなかコミュニケーションがとれず、話しづらかったけれど、だんだん時間がたつうちにコミュニケーションもとれ、身振り手振りや英語、韓国の本などを使って話せるようになりました。言葉がつうじたりすると、とてもうれしかったです。

親善試合は、両チームとも全力でプレーしていました。結果は、日高選抜が2試合とも負けてしまいましたが、とてもいい試合だったと思います。烏山市の子達は、当たりが強く、スピードもあり、パスは正確で、ボールによるのも速くともうまかったです。でも、私もまげじとがんばりました。すごく楽しく、おもしろい試合でした。まきばの湯で、お風呂に入ったときは、気持ちよかったです。

約3日間、烏山市の子達との交流は、私にとって、とてもいい経験、思い出になりました。

高根小 内田 萌

最初は、烏山市の人がなにをしゃべっているかわからなかったけど、身ぶり、手ぶりの動作や、韓国語の本などをつかったり、ちょっとした英語で、うまくしゃべることができたので、とても楽しかったです。また、烏山市の人達が、日本語が上手でビックリしました。韓国語講座で覚えた言葉をつかって、相手につたわったときは、とてもうれしく感じました。

親善試合では、見ていても、試合に出いても感じたことがあります。それは、足がはやくて、あたりもつよく、パスも正確で、ボールによるのもはやくて、テクニクもあって、すごいなと思いました。親善試合は、負けてしまいましたが、すごく楽しかったです。烏山市との交流でいろいろなる事を知ることができました。いい経験ができたし、いい思い出ができて、よかったです。

楽しかった試合

高萩北小 長尾 浩平

このスポーツ交流事業で1日目の歓迎夕食会は、ぼくは、すこしだけだなと思っていました。理由は、最初にしゃべるのがいやだったからです。でも家に帰るとき車の中でじゃんけんをしたりコンビニによっておかしを買ったりしてすこしなかなれました。その夜、航くんの家にとまって4人でゲームをやって、お風呂に入ってねました。2日目の試合では、市役所に行くときの車の中にボールとスパイクをおいてきてしまいなんと試合前にもつてきてもらって試合には、スパイクをはいてくれました。でも2試合ともできなかったからよかったし、あまり試合にもでれなかったからもつとくやしかったです。でもぼくは楽しかったと思います。そのあとマキバの湯にいつてふるにはいつてサウナでどつちが長くはいれるかきょうそうしたりして、夜はまくらをなげあたりして、たのしかったです、仲よくなれてよかったです

かん国交流を通して

高萩北小 小宮 航

ぼくはサッカーの日高選抜つに選ばれて、Bチームでプレーをしています。かん国烏山市の交流試合を通じてたく山の友達もできてよかったです。試合は1、2試合とも負けてしまいました、少しの時間しかでれなかったけれどとてもたのしかったです。

かん国の人にはドリブルも速く、キック力もつよく、まん中からシュートをさせないぞという気持ちでプレーしました。

試合がおわって、会場の人達に温かいはくしゅをしてもらってとてもうれしかったです。もしかしたら、ぼくはこれが最初で最後の国際交流かもしれませんが、このことを通して、友達ができたことなどいろいろなることがあったので、もっとサッカーをがんばっていきたいです。

韓国選手との交流をおえて

武蔵台小 杉山 裕輔

ぼくは、韓国の選手達と交流をして、色々なことがありましたが一番印象に残ったことは、交流試合です。一試合目と二試合目、両方とも負けてしまったけど、いい試合をしていたと思うし、いい経験になりました。特に韓国の選手達のテクニク、スピード、チームワークなど色々なことをぼく自身も日高選抜も見習うべきだと思いました。

次に韓国の選手達と試合をするときは、日本代表と韓国代表として試合をしたいです。その夢を実現させるために一生懸命練習に励みたいです。

今回、このような経験ができたのも市の関係者のみなさん、監督、コーチのみなさんなどの色々な人のおかげです。ありがとうございました。

韓国と試合をして

武蔵台小 緑川 拓海

ぼくは、今までにたくさんさんのチームと戦ったことはある。けれど、韓国と戦うことはめったに無いのできちような体験だと思った。

韓国人が来て2日目に試合をした。韓国人はだれに対してもよりが速くて、ぼくは長い時間はボールを持つていることはできなかった。韓国とは2試合した。2試合とも負けてしまった。けれど、きちような体験ができてよかったです。

韓国人といっしょに、風呂入ったり、ご飯を食べたりして、韓国人とふれあえてよかったです。

今回は2試合とも負けてしまったけれど、もっとたくさん練習をして、韓国に勝てる強さになりたいと思いました。

思い出になった交流

武蔵台小 下地 謙史

ぼくはこの友好都市スポーツ交流にさんかしてよかったことや思い出になったことがいっぱいあります。

一つ目は、韓国人と交流してとてもいい思い出になったし、いい交流ができたと思いました。

二つ目は、自分のためにいい経験になりました。この交流を将来のなにかに生かせるかなと思いました。

三つ目は、韓国人とサッカーをして韓国人はとてもサッカーがうまいなと思いました。ぼくもこれくらいうまくなりたいなと思いました。

最後に、こうゆう交流をもうけてくれた日高市役所の方々や日高市長様や烏山市の方々、ほかに協力してくれた人たちや監督、コーチ、家族の人に感謝したいと思います。ありがとうございました。

かん国人との思い出

武蔵台小 斎藤 起央

かん国人との交流は楽しかったことがたくさんありました。まず、かんげい夕食会では同じ席のナムスンヒョンさんと、チエチエルウォンさんと、言葉は通じませんでした。いろいろなことをしました。その二人だけではなく、いろいろな人と話しました。

ホームステイでは、ねるときに、二人が、キョーティーハニーの歌をうたっていたのでみんなでうたいました。

次の日の交流試合は、きんちょうしました。結果は、1試合目は、0対1で負け、2試合目も1対4で負け、かん国のチームは強くスンヒョンとチエルウォンが、点を決めました。

次の日のおわかれのときは、

「3日間早かったね。」

とみんなですべていきました。また、みんなとあつて、遊んだり、試合したいと思います。

烏山市との交流

武蔵台小 宮岡 明央

ぼくは、スポーツ交流事業でホームステイをしました。家には、烏山市の選手二人が来ました。歓迎夕食会の時、烏山市の二人と、日高選抜の友達とぼくでした。最初は、ぼくは、友達としかしゃべっていませんでしたが、他のグループがコミュニケーションをとっている所を見て、ぼくたちから、しゃべったら、答えてくれたので、よかったです。

その日の夜、烏山の二人は、サッカーのゲームをやりその後、布団に入り寝ようとした時に、烏山の二人が急に大声で歌をうたい始めたり、ぼくたちの布団に入ってきて暴れたりしてすぐくうるさかったけど楽しかったです。

次の日、ぼくたちは、烏山市の選手と試合を2試合やりました。2試合とも負けました。烏山市の選手の人はパスが速くて、つねに動いてすごかったです。烏山市の選手から見習うことが多かったです。

その日の夜は、団の歓迎会後に武蔵台の六年生と烏山の二人と飯能祭りへ行きました。二人はみこしを見てびっくりしていました。

二人はリング餡をなめていました。

帰ってきてからサッカーのゲームをしました

た。

ぼくたちはつかれたので寝ようとしたら、また烏山市の二人が暴れだしてすごかったです。

最後の日、いそがしいのに朝から二人はゲームをしていてびっくりしました。二人はバスで行ってしまつてせっかく仲良くなったのにと思いました。

最後にこの交流事業で韓国との友好の輪が広がったと思いました。